

- 1．野菜のおいしさについて
- 2．食品に関する安心感・不安感について

目 次

平成19年度食料品消費モニター第3回定期調査の概要	1
調査結果の概要	
テーマ 1. 野菜のおいしさについて	
1. 購入することが多い「だいこん」の形態	3
2. 1. で回答している「だいこん」を購入している理由	3
3. 1. で回答している「だいこん」を平均してどのくらいの期間で使い切るか	4
4. 使い道に合わせた「だいこん」がどのくらい店頭で陳列・販売されているか	4
5. 「だいこん」を購入する際、使い道に合わせた「だいこん」がどのくらい店頭で陳列・販売されていたらよいと思うか	5
6. 家庭では「だいこん」はどのような料理として食卓にのぼることが多いか	6
7. 家庭で作った「だいこん」を使った料理を食べる頻度	6
8. 子どもの頃に食べた「だいこん」と最近食べている「だいこん」はどちらがおいしいと思うか	7
9. 最近食べた「だいこん」のおいしさに満足しているか	7
10. 「だいこん」料理(おろし、サラダ、煮物)の好き嫌い	8
11. だいこんおろしとして食べる場合、どのような「だいこん」をおいしいと思うか	8
12. サラダにして食べる場合、どのような「だいこん」をおいしいと思うか	9
13. 煮物にして食べる場合、どのような「だいこん」をおいしいと思うか	10
14. 購入することが多い「レタス」の形態	10
15. 14. で回答したような形態の「レタス」を購入している理由	11
16. 14. で回答したような形態の「レタス」をどのくらいで使い切るか	12
17. 「レタス」を購入することが多い店舗等では何種類程度の「レタス」が品揃えされているか	12
18. 「レタス」を購入する際、店頭で品種、産地、栽培方法などが異なるものがどのくらい陳列・販売されていたらよいと思うか	13
19. 「レタス」はどのような料理として食卓にのぼることが多いか	13
20. 家庭で作った「レタス」を使った料理を食べる頻度	14
21. 最近食べた「レタス」のおいしさに満足しているか	15
22. 「レタス」の好き嫌い	15
23. 生(サラダなど)で食べる場合、どのような「レタス」をおいしいと思うか	15
24. 「野菜サラダ」の好き嫌い	16
25. 「野菜サラダ」を食べる頻度	17
テーマ 2. 食品に関する安心感・不安感について	
26. 食品について安心と感じているか、不安と感じているか	19
27. 不安を感じる食品	20
集計表	21
最近における食料品消費モニター調査テーマ一覧表	84

平成19年度食料品消費モニター第3回定期調査の概要

1. テーマ

- (1) 野菜のおいしさについて
- (2) 食品に関する安心感・不安感について

2. 調査の目的

(1) 野菜のおいしさについて

農林水産省では、野菜の「おいしさ」に着目した野菜の消費拡大対策を検討しています。

今回の調査は、需要が伸び悩んでいるだいこんと、近年サラダ需要により消費が拡大しているレタスについて、消費者の皆さんが「おいしさ」をどのように感じているかを今後の消費拡大対策に活用するために行いました。

(2) 食品に関する安心感・不安感について

食品安全の確保については、「農場から食卓」までの一貫した安全確保が重要であり、食品供給工程を通じて、必要な措置を講じることが求められています。

このため、食品供給の各段階における消費者意識の状況について把握し、今後の食品安全確保対策の推進に活用するため調査を行いました。

3. 調査の方法等

(1) 調査時期

平成20年1月～2月

(2) 調査対象者

食料品消費モニター（全国主要都市に在住する一般消費者）1,021名

(3) 調査方法

郵送された調査票（質問用紙）にモニターが回答を記入、返送。

(4) 調査票作成担当課

野菜のおいしさについて（生産局生産振興流通課流通加工対策室）

食品に関する安心感・不安感について（消費・安全局消費・安全政策課）

(5) 回収状況

調査票配布者 1,021名

調査票回収者数 1,013名

調査票回収率 99.2%

(6) 集計区分

（モニター年代別）20歳代	100名（10%）
30歳代	201名（20%）
40歳代	177名（17%）
50歳代	212名（21%）
60歳代	200名（20%）

70歳以上 123名(12%)
この他、地域別の集計を行いました。

4. 報告書を読む際の注意事項

- (1) 集計表中、構成比(%)は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。
- (2) 本文中のグラフ及び集計表の構成比(%)欄中の記号は、以下のとおりです。
 - 「-」：事実のないもの
 - 「0」：表章単位に満たないもの

調査結果の概要

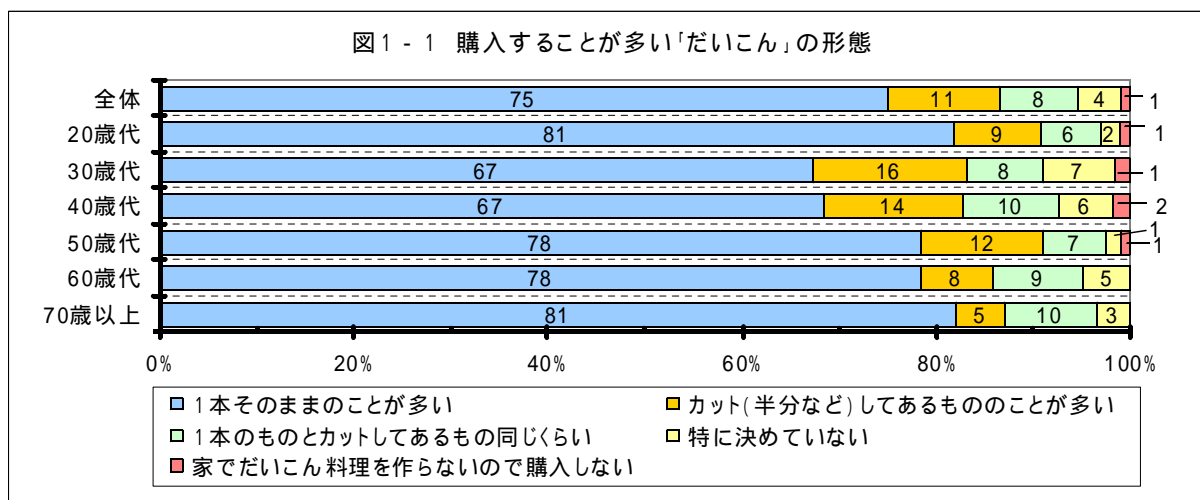
テーマ1．野菜のおいしさについて

1．購入することが多い「だいこん」の形態

どの年代でも「1本そのままのことが多い」と回答した人の割合が高かったが、30～40歳代は「カット（半分など）してあるもののことが多い」と回答した人の割合が他の年代に比較してやや高い

家庭で「だいこん」を購入する場合、どのような形態のものを購入することが多いか聞いたところ、「1本そのままのことが多い」と回答した人の割合が高く75%であった。

年代別にみると、「カット（半分など）してあるもののことが多い」は30～40歳代が他の年代に比較してやや高い傾向であった（図1-1）。

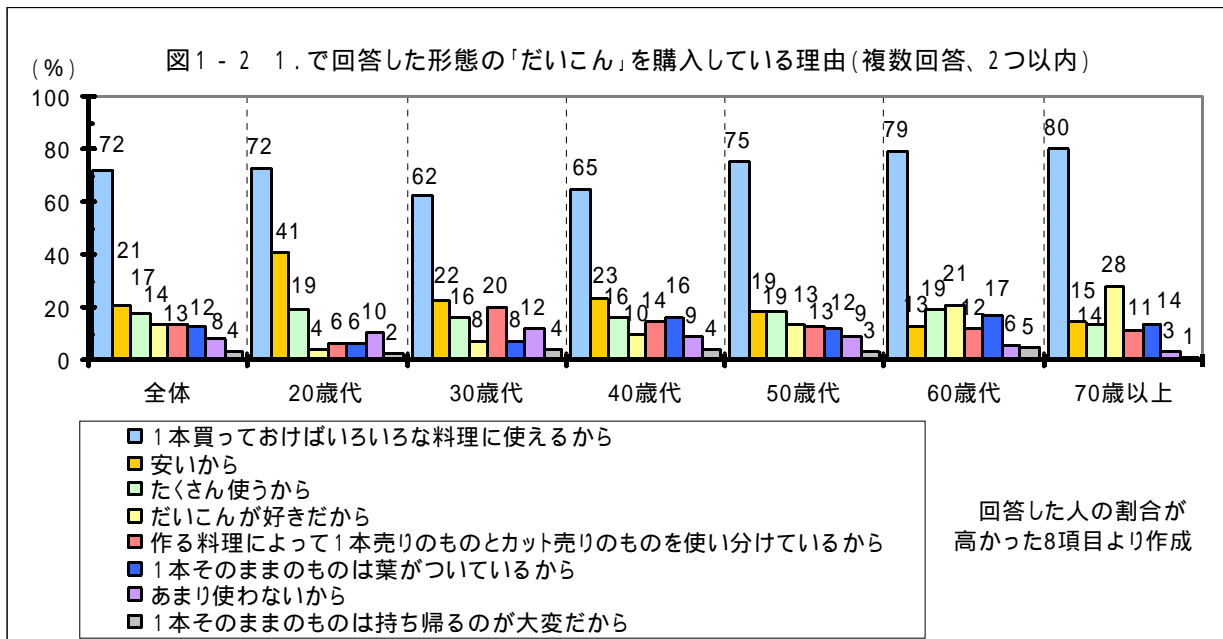


2．1．で回答している「だいこん」を購入している理由

「1本買ってあげばいろいろな料理に使えるから」と回答した人の割合が高かった

「1．購入することが多い「だいこん」の形態」で、「1本そのままのことが多い」「カット（半分など）してあるもののことが多い」「1本のもものとカットしてあるもの同じくらい」「特に決めていない」と回答した人に、回答した形態の「だいこん」を購入する理由を聞いたところ（複数回答、2つ以内）、「1本買ってあげばいろいろな料理に使えるから」と回答した人の割合が高く72%であった。

年代別にみると、20歳代～50歳代では、「1本買ってあげばいろいろな料理に使えるから」に次いで、「安いから」と回答した人の割合が高かったのに対し、60～70歳以上では、「1本買ってあげばいろいろな料理に使えるから」に次いで、「だいこんが好きだから」と回答した人の割合が高かった（図1-2）。

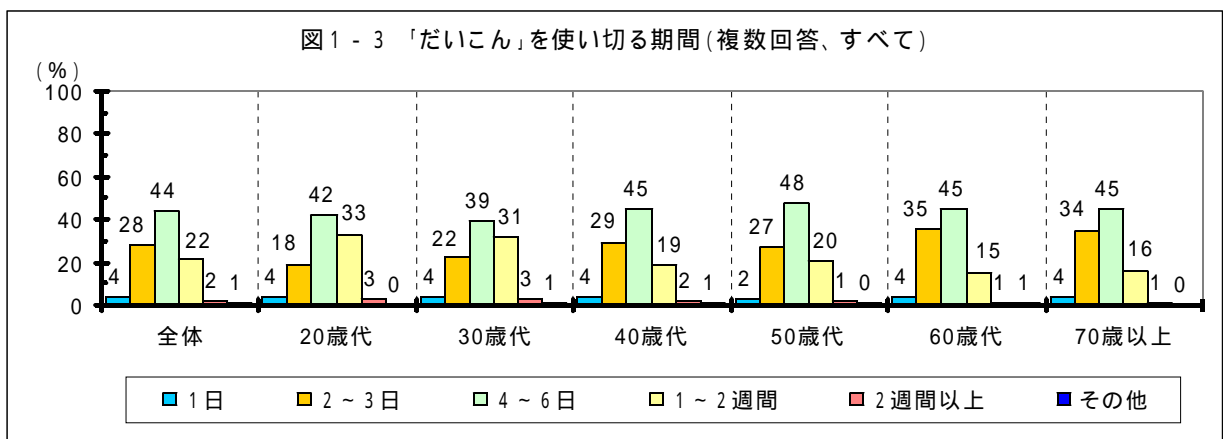


3. 1.で回答している「だいこん」を平均してどのくらいの期間で使い切るか

4～6日で使い切ると回答した人の割合が高く、次いで2～3日、1～2週間であった

「1.購入することが多い「だいこん」の形態」で、「1本そのままのことが多い」「カット(半分など)してあるもののことが多い」「1本のもものとカットしてあるもの同じくらい」「特に決めていない」と回答した人に、回答したような形態の「だいこん」を平均してどのくらいの期間で使い切るか聞いたところ、「4～6日」と回答した人の割合が44%と最も高く、次いで「2～3日」28%、「1～2週間」22%の順であった。

年代別にみると、20～30歳代では「4～6日」に次いで、「1～2週間」と回答した人の割合が高かったのに対し、40歳代～70歳以上では、「4～6日」に次いで、「2～3日」と回答した人の割合が高かった(図1-3)。

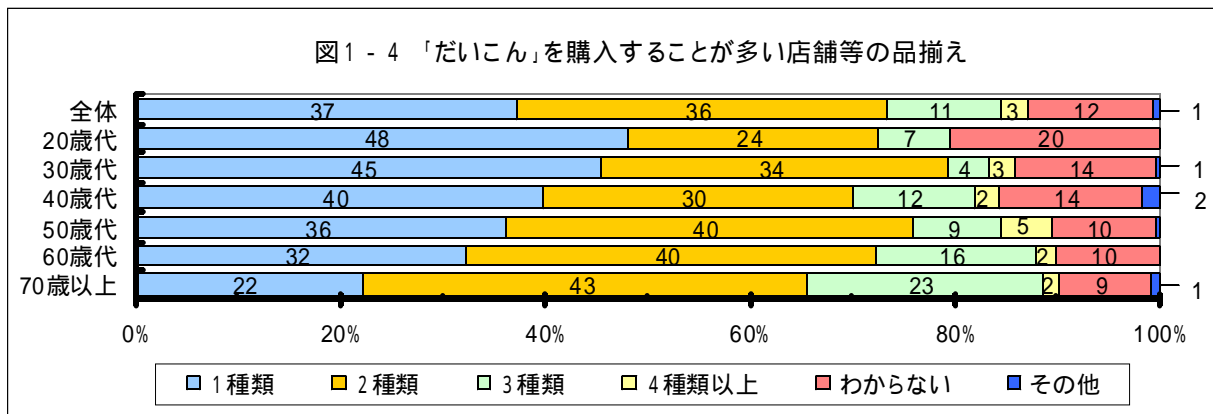


4. 使い道に合わせた「だいこん」がどのくらい店頭で陳列・販売されているか

品揃えは1種類または2種類が多い

「1. 購入することが多い「だいこん」の形態」で、「1本そのままのことが多い」「カット（半分など）してあるもののことが多い」「1本のもものとカットしてあるもの同じくらい」「特に決めていない」と回答した人に、「だいこん」を購入することが多い店舗等では、品種や栽培内容、産地などが異なる「だいこん」が何種類程度品揃えされているか聞いたところ、「1種類」と回答した人の割合が37%と最も高く、次いで「2種類」36%であった。

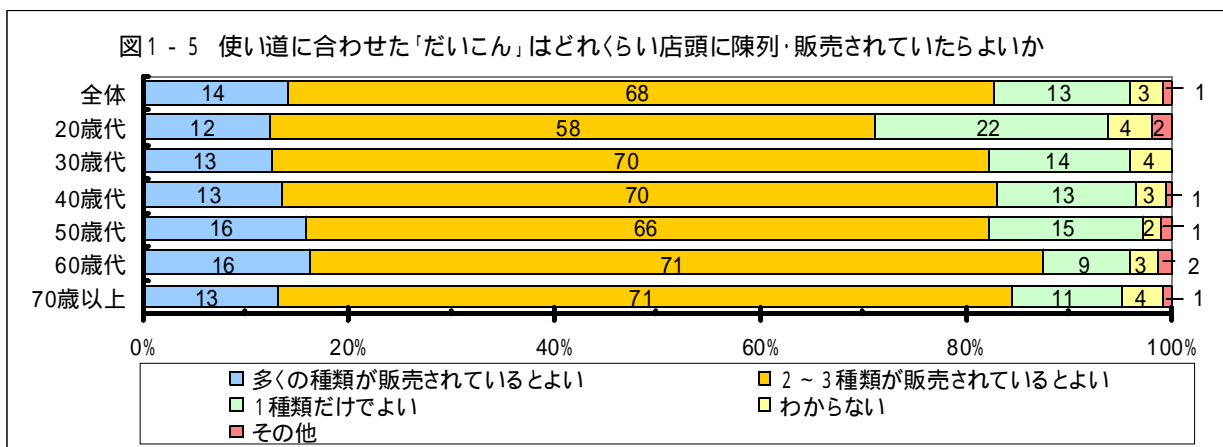
年代別にみると、「1種類」と回答した人の割合は、年代が高いほど低くなる傾向であり、「2種類」、「3種類」、「4種類以上」と回答した人の合計の割合は、年代が高いほど高くなる傾向であった（図1-4）。



5. 「だいこん」を購入する際、使い道に合わせた「だいこん」がどのくらい店頭で陳列・販売されていたらよいと思うか

「2～3種類が販売されているとよい」と回答した人の割合が高く、「1種類だけでよい」と回答した人の割合は低かった

「1. 購入することが多い「だいこん」の形態」で「1本そのままのことが多い」「カット（半分など）してあるもののことが多い」「1本のもものとカットしてあるもの同じくらい」「特に決めていない」と回答した人に、「だいこん」を購入する際、「おろしに最適」、「煮物向き」などと使い道に合わせた「だいこん」がどのくらい店頭で陳列・販売されていたらよいと思うか聞いたところ、「2～3種類が販売されているとよい」と回答した人の割合が68%と高く、次いで「多くの種類が販売されているとよい」14%、「1種類だけでよい」13%とであった（図1-5）。

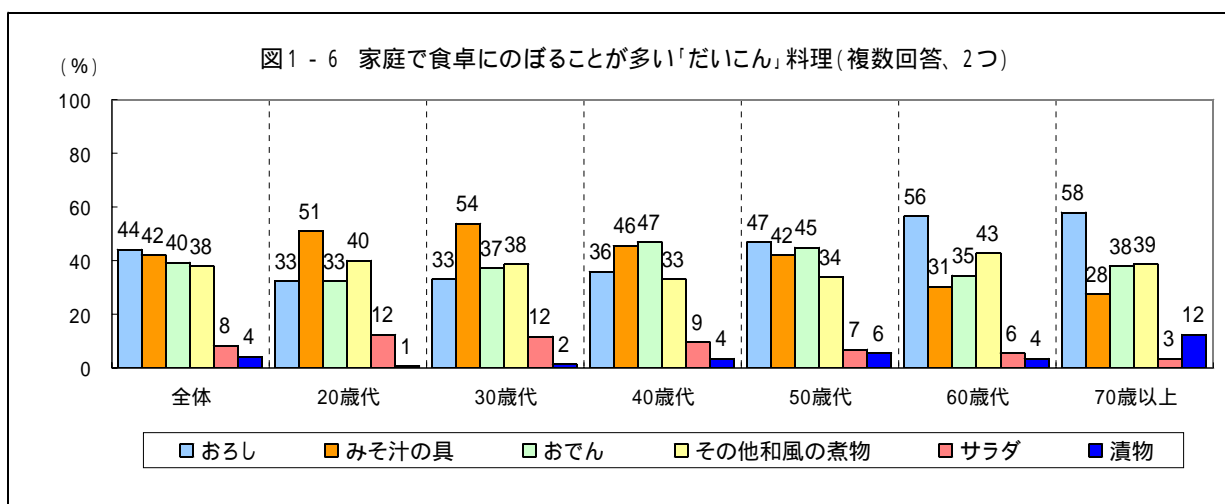


6. 家庭では「だいこん」はどのような料理として食卓にのぼることが多いか

「おろし」と回答した人の割合が最も高く、次いで「みそ汁の具」、「おでん」、「その他和風の煮物」の順であった
 「サラダ」や「漬物」と回答した人の割合は低かった

「1. 購入することが多い「だいこん」の形態」で、「1本そのままのことが多い」「カット（半分など）してあるもののことが多い」「1本のもものとカットしてあるもの同じくらい」「特に決めていない」と回答した人に、家庭では「だいこん」はどのような料理として食卓にのぼることが多いか聞いたところ（複数回答、2つ）、「おろし」と回答した人の割合が44%と最も高く、次いで「みそ汁の具」42%、「おでん」40%、「その他和風の煮物」38%の順であった。一方、「サラダ」と回答した人の割合は8%、「漬物」は4%と低かった（図1-6）。

年代別にみると、「おろし」は50～70歳以上の割合が、「みそ汁の具」は20～40歳代が他の年代と比較して高い傾向であった。

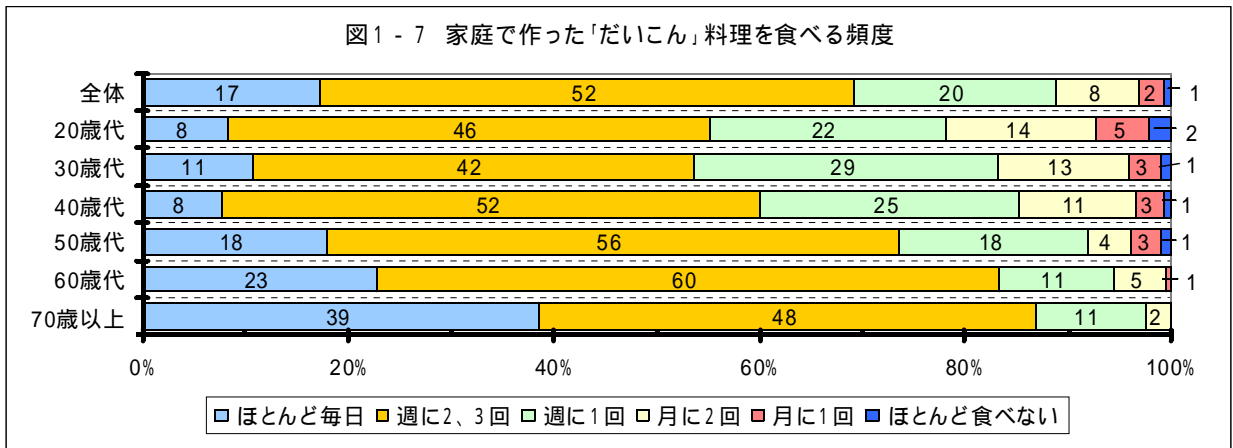


7. 家庭で作った「だいこん」を使った料理を食べる頻度

「週に2、3回」と回答した人の割合が最も高く、次いで「週に1回」、「ほとんど毎日」の順であった
 年代が高いほど、「ほとんど毎日」と回答した人の割合が高かった

「1. 購入することが多い「だいこん」の形態」で「1本そのままのことが多い」「カット（半分など）してあるもののことが多い」「1本のもものとカットしてあるもの同じくらい」「特に決めていない」と回答した人に、家庭で作った「だいこん」を使った料理をどのくらいの頻度で食べているか聞いたところ、「週に2、3回」と回答した人の割合が52%と最も高く、次いで「週に1回」20%、「ほとんど毎日」17%の順であった。

年代別にみると、「ほとんど毎日」は50～70歳以上の割合が高く、年代が高いほど高い傾向であった。70歳以上では39%の人が「ほとんど毎日」と回答した（図1-7）。

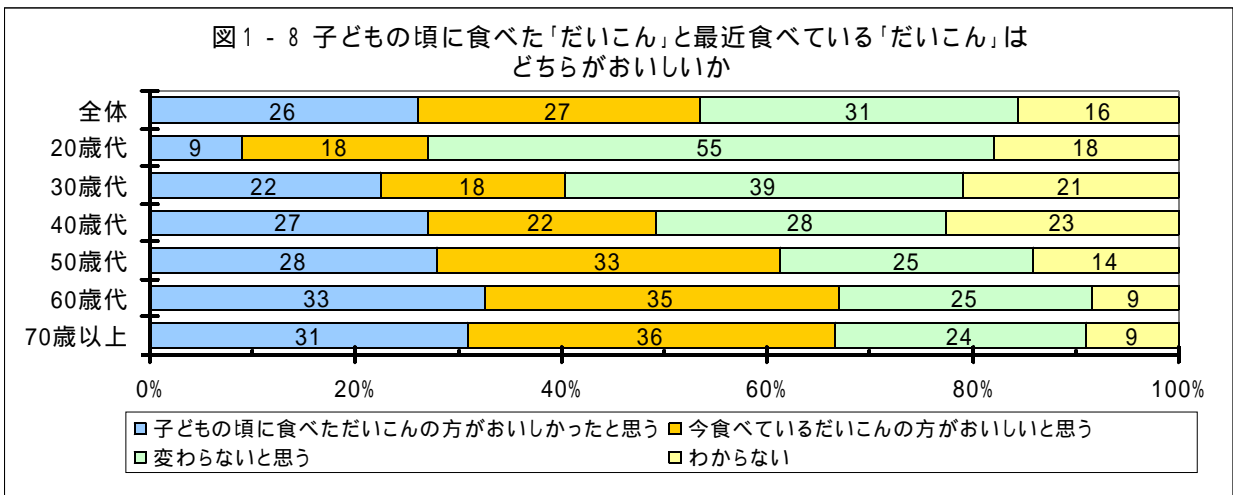


8. 子どもの頃に食べた「だいこん」と最近食べている「だいこん」はどちらがおいしいと思うか

「子どもの頃に食べただいこんの方がおいしかったと思う」、「今食べているだいこんの方がおいしいと思う」、「変わらないと思う」が均衡した

子どもの頃に食べた「だいこん」と最近食べている「だいこん」はどちらがおいしいと思うか聞いたところ、「子どもの頃に食べただいこんの方がおいしかったと思う」26%、「今食べているだいこんの方がおいしいと思う」27%、「変わらないと思う」31%と均衡した。

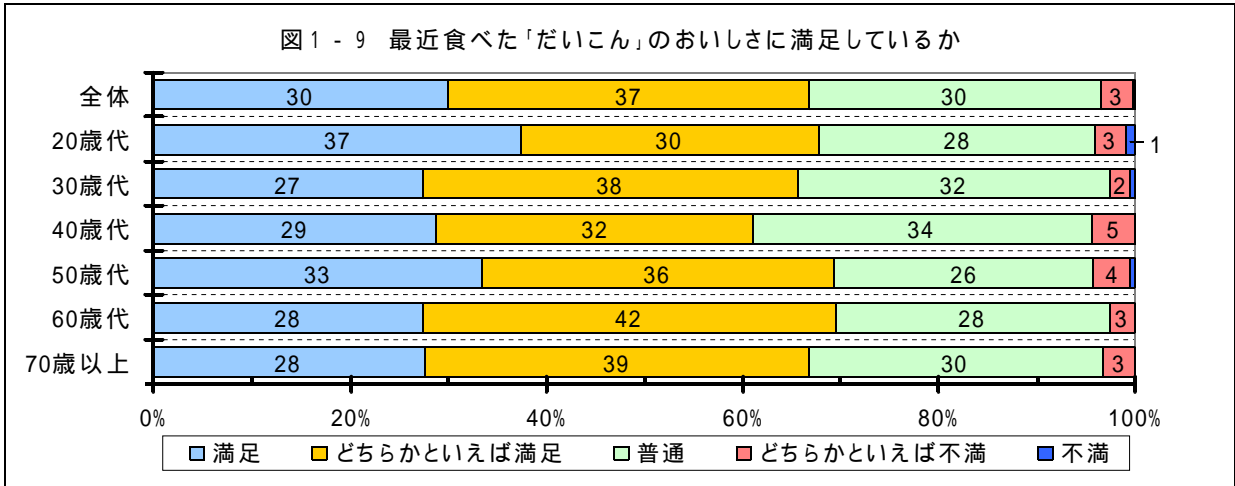
年代別にみると「変わらないと思う」が20歳代では55%、30歳代では39%と高い傾向であった(図1-8)。



9. 最近食べた「だいこん」のおいしさに満足しているか

「満足」、「どちらかと言えば満足」、「普通」と回答した人の割合が高く、「どちらかといえば不満」、「不満」は極めて低かった

最近食べた「だいこん」のおいしさに満足しているか聞いたところ、「満足」30%、「どちらかと言えば満足」37%、「普通」30%であった。一方、「どちらかといえば不満」は3%、「不満」は0%と極めて低かった(図1-9)。

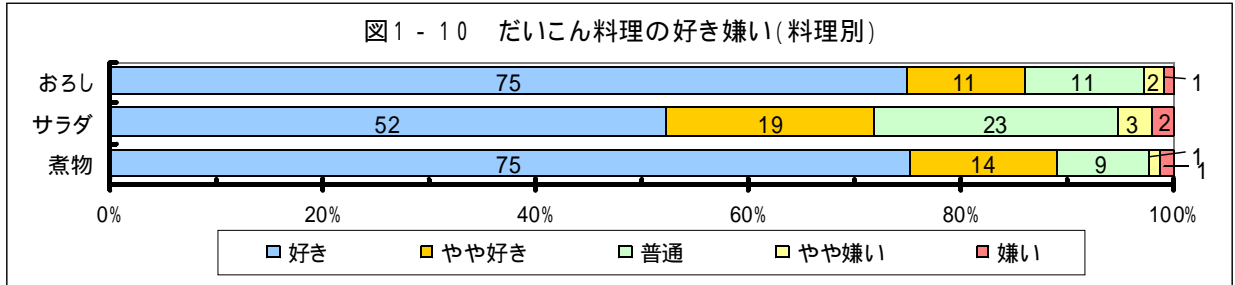


10. 「だいこん」料理（おろし、サラダ、煮物）の好き嫌い

おろし、サラダ、煮物とも「好き」と回答した人の割合が最も高く、「やや嫌い」「嫌い」は極めて低かった

「だいこん」料理の好き嫌いについて聞いたところ、おろし、サラダ、煮物とも「好き」と回答した人の割合が最も高く、おろし75%、サラダ52%、煮物75%であった。

一方、「やや嫌い」「嫌い」の合計は、おろし3%、サラダ5%、煮物2%と極めて低かった（図1-10）。

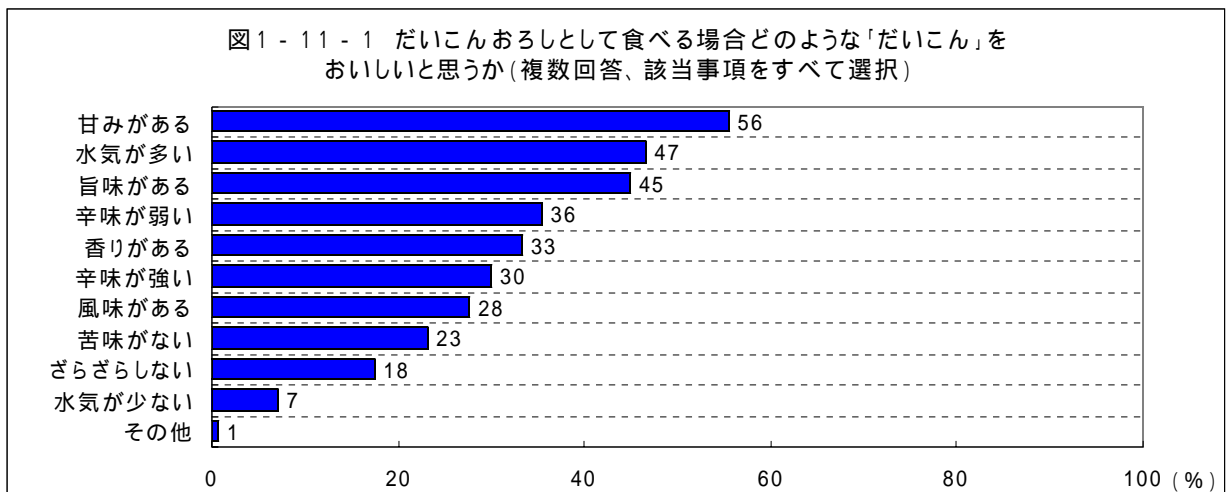


11. だいこんおろしとして食べる場合、どのような「だいこん」をおいしいと思うか

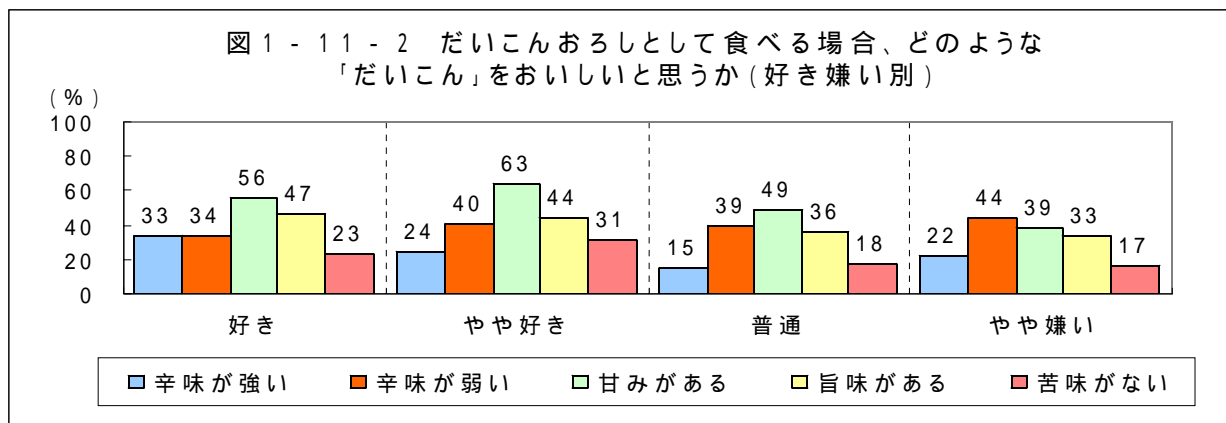
「甘みがある」と回答した人の割合が最も高く、次いで「水気が多い」、「旨味がある」の順であった
辛味に関しては、「強い」と「弱い」で好みが出分かれた

「10. 「だいこん」料理の好き嫌い」で、おろしについて、「好き」「やや好き」「普通」「やや嫌い」と答えた人に、だいこんおろしとして食べる場合、どのような「だいこん」をおいしいと思うか聞いたところ（複数回答、該当事項をすべて選択）、「甘みがある」と回答した人の割合が56%と最も高く、次いで「水気が多い」47%、「旨味がある」45%の順であった。

一方、辛味に関しては、「辛味が強い」30%に対し、「辛味が弱い」36%であり好みが出分かれた。（図1-11-1）



だいこんおろしの好き嫌い別に、「辛味が強い」「辛味が弱い」「甘みがある」「旨味がある」「苦味がない」についてみると、「好き」と回答した人は「辛味が強い」と「辛味が弱い」の好みは均衡しているものの、「やや好き」「普通」「やや嫌い」と回答した人は「辛味が弱い」ものを好む傾向が強かった(図1 - 11 - 2)。

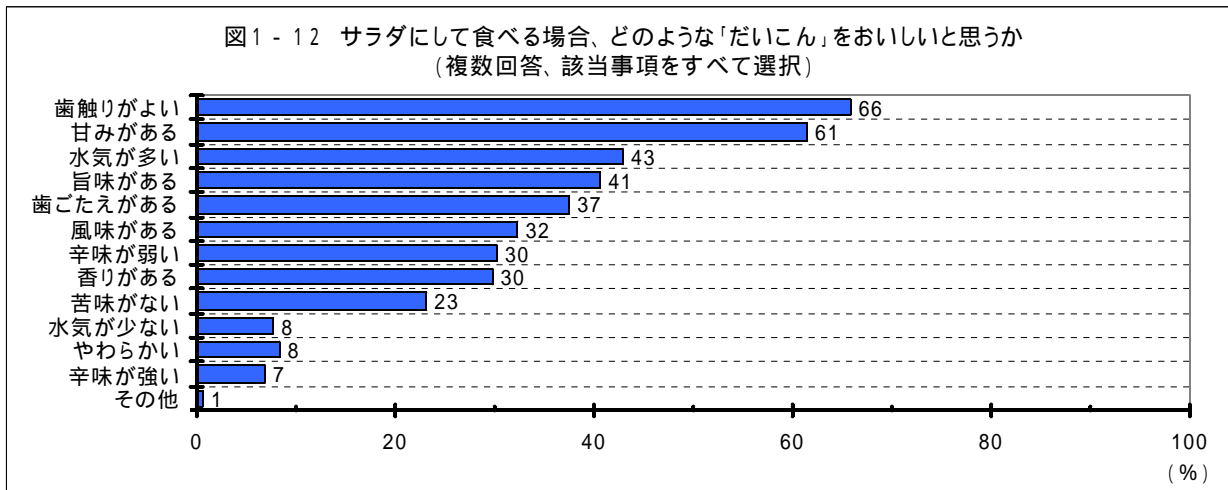


12. サラダにして食べる場合、どのような「だいこん」をおいしいと思うか

「歯触りがよい」と回答した人の割合が最も高く、次いで「甘みがある」、「水が多い」、「旨味がある」、「歯ごたえがある」の順であった
「辛味」に関しては、「強い」に比較し「弱い」の方が好まれた

「10. 「だいこん」料理の好き嫌い」で、「サラダ」について、「好き」「やや好き」「普通」「やや嫌い」と答えた人に、「だいこん」をサラダにして食べる場合、どのような「だいこん」をおいしいと思うか聞いたところ(複数回答、該当事項をすべて選択)、「歯触りがよい」と回答した人の割合が66%と最も高く、次いで「甘みがある」61%、「水が多い」43%、「旨味がある」41%、「歯ごたえがある」37%の順であった。

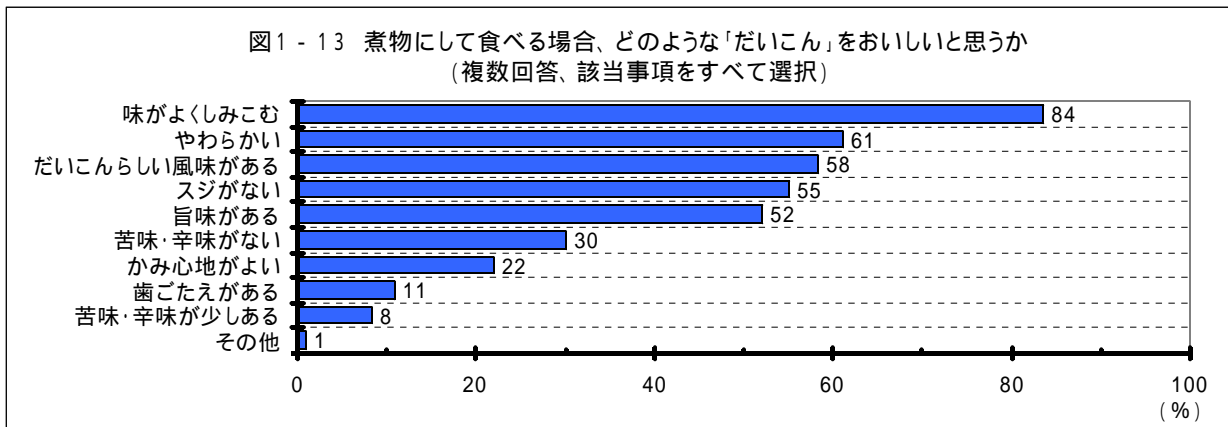
一方、辛味に関しては、「辛味が強い」7%に対し、「辛味が弱い」30%であり、辛味が弱い方が好まれた(図1 - 12)。



1 3 . 煮物にして食べる場合、どのような「だいこん」をおいしいと思うか

「味がよくしみこむ」と回答した人の割合が最も高く、次いで「やわらかい」、「だいこんらしい風味がある」、「スジがない」、「旨味がある」の順であった

「10. 「だいこん」料理の好き嫌い」で煮物について、「好き」「やや好き」「普通」「やや嫌い」と答えた人に、「だいこん」を煮物にして食べる場合、どのような「だいこん」をおいしいと思うか聞いたところ(複数回答、該当事項をすべて選択)、「味がよくしみこむ」と回答した人の割合が84%と最も高く、次いで「やわらかい」61%、「だいこんらしい風味がある」58%、「スジがない」55%、「旨味がある」52%の順であった(図1 - 13)。



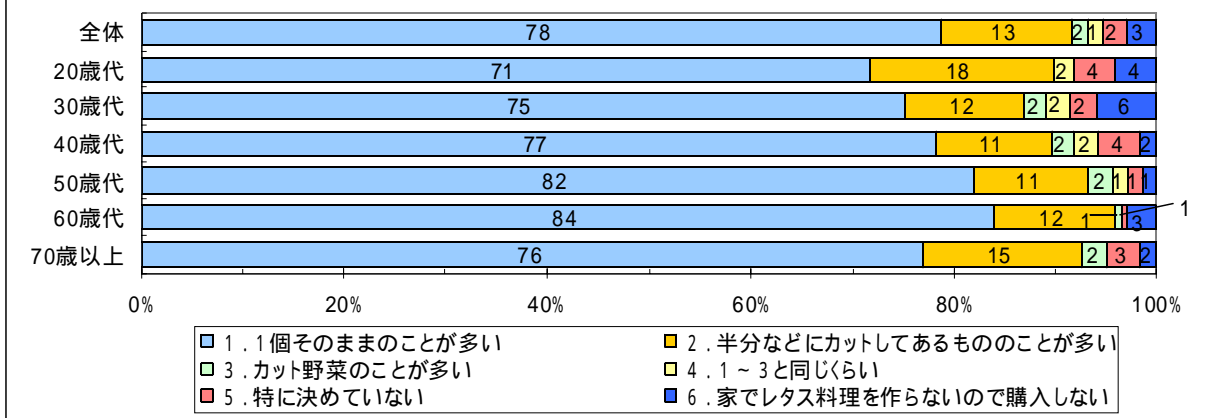
1 4 . 購入することが多い「レタス」の形態

「1個そのままのことが多い」と回答した人の割合が最も高かった

家庭で「レタス」を購入する場合、どのような形態のものを購入しているか聞いたところ、「1個そのままのことが多い」と回答した人の割合が78%と最も高く、次いで「半分などにカットしてあるものことが多い」13%の順であった。

年代別に見ると、20歳代～60歳代では、「1個そのままのことが多い」と答えた人の割合は、年代が高いほど高くなる傾向であった(図1 - 14)。

図1-14 「レタス」(玉レタスのこと。リーフレタスは除く。)を
購入する場合、どのような形態のものを購入しているか



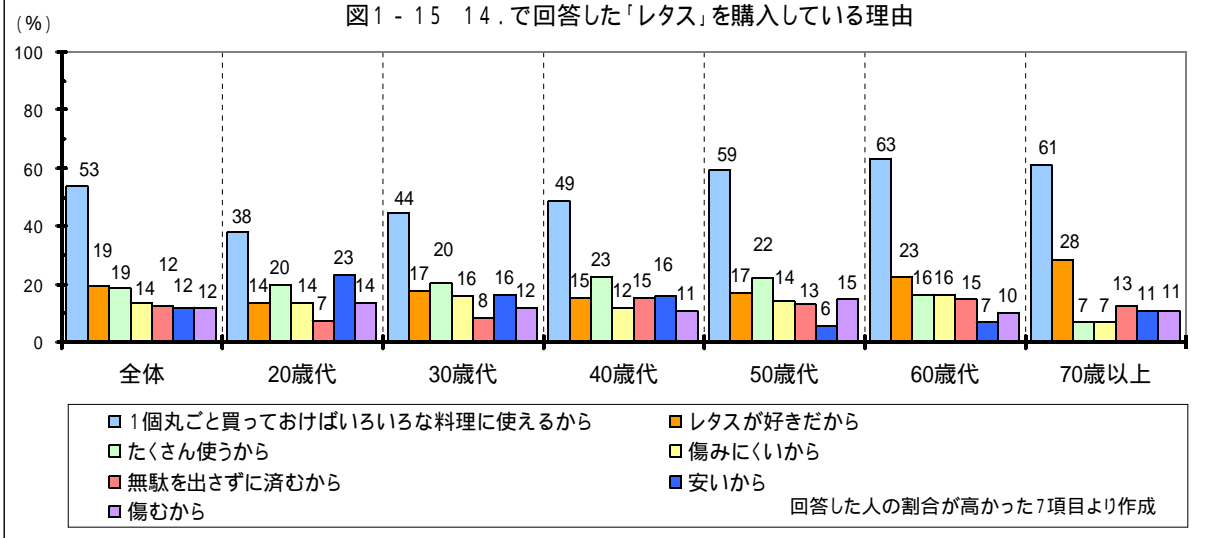
15.14. で回答したような形態の「レタス」を購入している理由

「1個丸ごと買ってあげばいろいろな料理につかえるから」と回答した人の割合が最も高かった

「14. 「レタス」を購入する場合、どのような形態のものを購入しているか」で、「1. 1個そのままのことが多い」「2. 半分などにカットしてあるものが多い」「3. カット野菜のことが多い」「4. 1~3の形態が同じくらい」「5. 特に決めていない」と回答した人に、回答したような形態のレタスを購入している理由を聞いたところ、「1個丸ごと買ってあげばいろいろな料理に使えるから」と回答した人の割合が53%と最も高く、次いで「レタスが好きだから」、「たくさん使うから」19%であった。

年代別に見ると、20歳代~60歳代では、「1個まるごと買ってあげばいろいろな料理に使えるから」と回答人の割合は、年代が高いほど高くなる傾向であった。また、「安いから」と回答した人の割合は年代が高いほど低くなる傾向であった。(図1-15)

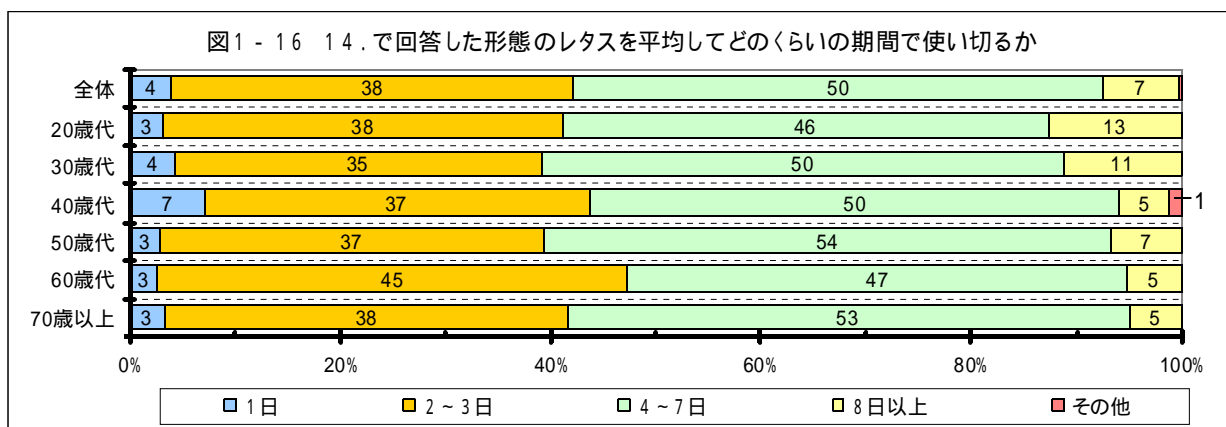
図1-15 14. で回答した「レタス」を購入している理由



16.14. で回答したような形態の「レタス」をどのくらいで使い切るか

4～7日で使い切ると回答した人の割合が高く、次いで2～3日の順であった

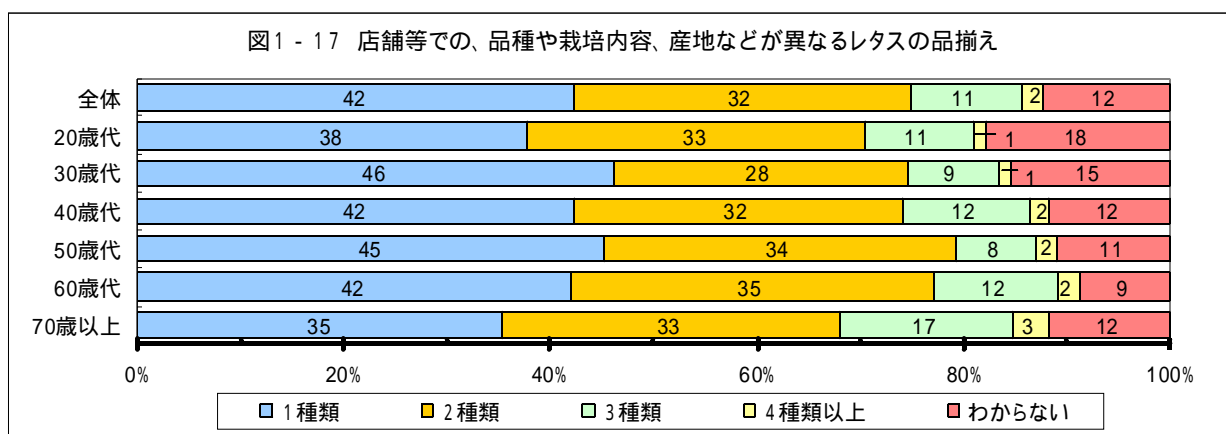
「14. 「レタス」を購入する場合、どのような形態のものを購入しているか」で、「1. 1個そのままのことが多い」「2. 半分などカットしてあるもののことが多い」「3. カット野菜のことが多い」「4. 1～3つの形態が同じくらい」「5. 特に決めていない」と回答した人に、回答したような形態の「レタス」を平均してどのくらいの期間で使い切るか聞いたところ、「4～7日」と回答した人の割合が50%と最も高く、次いで「2～3日」38%の順であった(図1-16)。



17. 「レタス」を購入することが多い店舗等では何種類程度の「レタス」が品揃えされているか

品揃えは1種類または2種類が多い

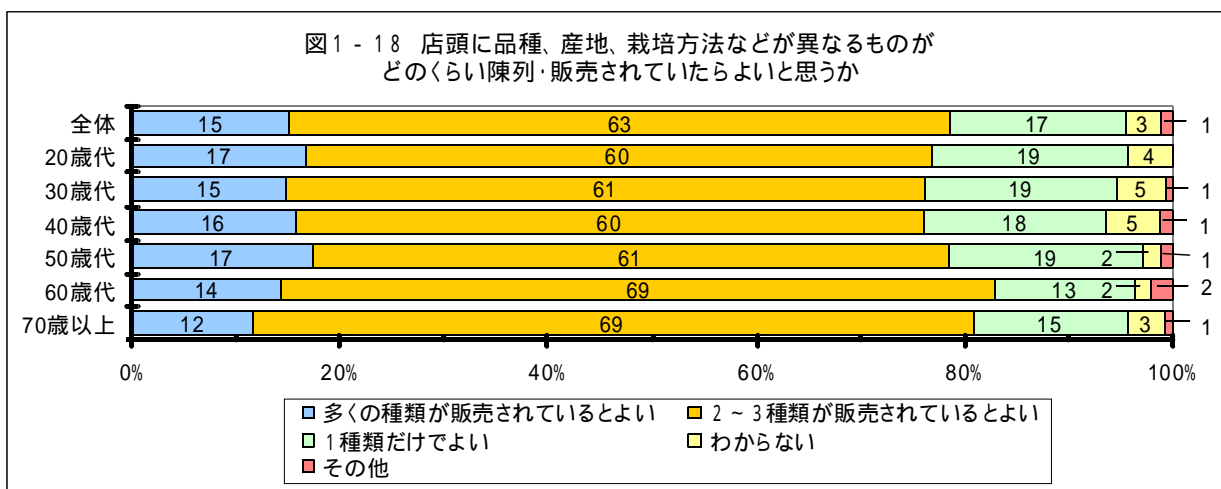
「14. 「レタス」を購入する場合、どのような形態のものを購入しているか」で、「1. 1個そのままのことが多い」「2. 半分などカットしてあるもののことが多い」「3. カット野菜のことが多い」「4. 1～3の形態が同じくらい」「5. 特に決めていない」と回答した人に、「レタス」を購入することが多い店舗等では、品種や栽培内容、産地などが異なる「レタス」が何種類程度品揃えされているか聞いたところ、「1種類」と回答した人の割合が42%と最も高く、次いで「2種類」32%であった(図1-17)。



18. 「レタス」を購入する際、店頭で品種、産地、栽培方法などが異なるものがどのくらい陳列・販売されていたらよいと思うか

「2～3種類が販売されているとよい」と回答した人の割合が高かった

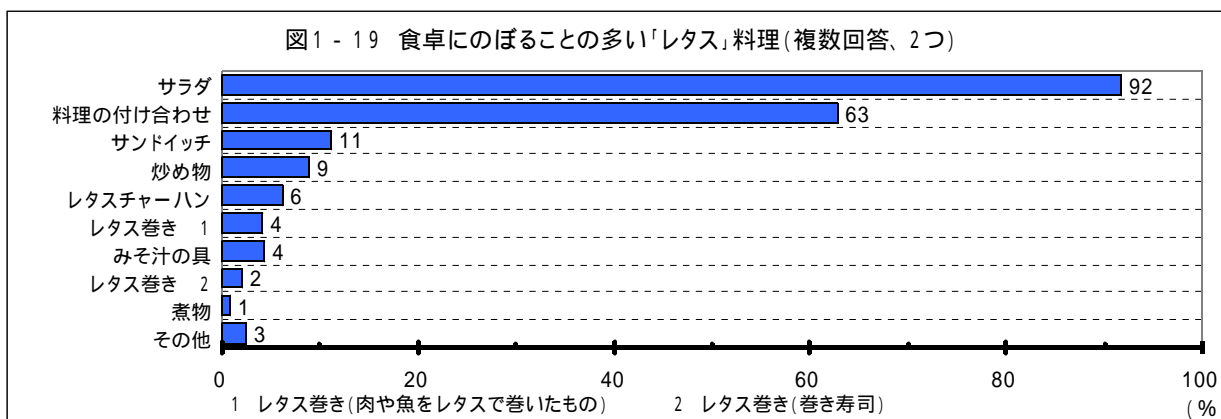
「14. 「レタス」を購入する場合、どのような形態のものを購入しているか」で、「1. 1個そのままのことが多い」「2. 半分などカットしてあるものが多い」「3. カット野菜のことが多い」「4. 1～3の形態が同じくらい」「5. 特に決めていない」と回答した人に、「レタス」を購入する際、店頭で品種、産地、栽培方法などが異なるものがどのくらい陳列・販売されていたらよいと思うか聞いたところ、「2～3種類が販売されているとよい」と回答した人の割合が63%と高く、次いで「1種類だけでよい」17%、「多くの種類が販売されているとよい」15%の順であった(図1-18)。



19. 「レタス」はどのような料理として食卓にのぼることが多いか

「サラダ」と回答した人の割合が最も高く、次いで「料理の付け合わせ」の順であった

「14. 「レタス」を購入する場合、どのような形態のものを購入しているか」で、「1. 1個そのままのことが多い」「2. 半分などカットしてあるものが多い」「3. カット野菜のことが多い」「4. 1～3の形態が同じくらい」「5. 特に決めていない」と回答した人に、家庭では「レタス」はどのような料理として食卓にのぼることが多いか聞いたところ(複数回答、2つ)、「サラダ」と回答した人の割合が92%と最も高く、次いで「料理の付け合わせ」63%の順であった(図1-19)。

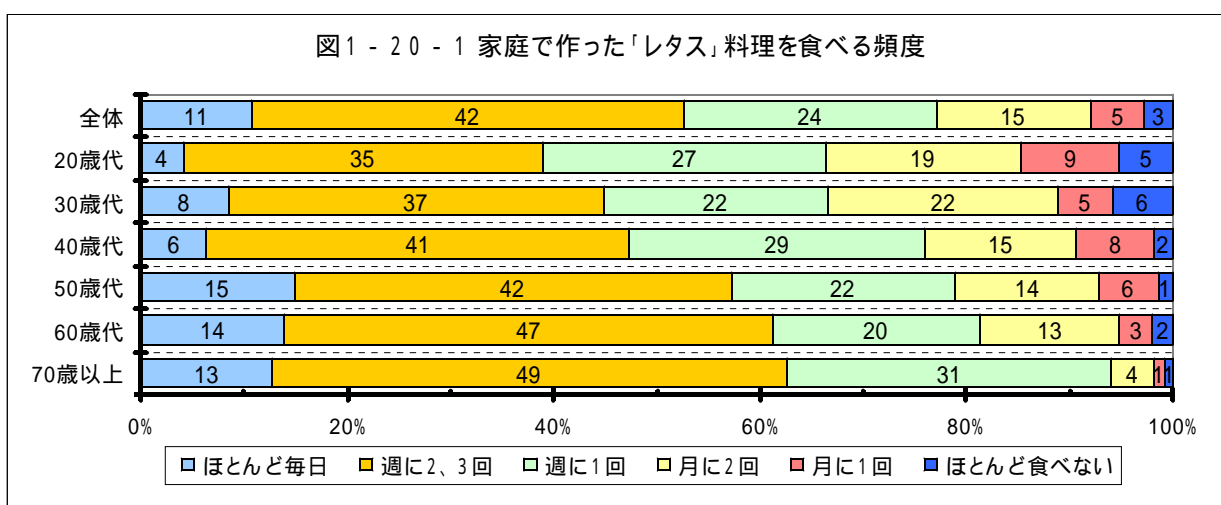


20. 家庭で作った「レタス」を使った料理を食べる頻度

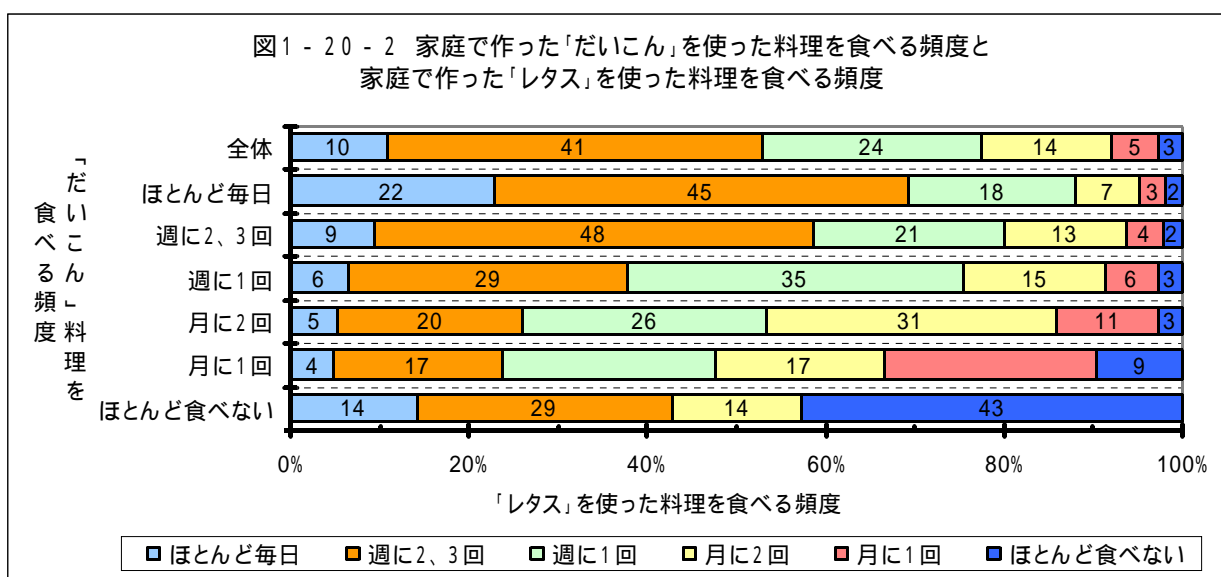
「週に2、3回」と回答した人の割合が最も高く、次いで「週に1回」、「月に2回」の順であった

「14. 「レタス」を購入する場合、どのような形態のものを購入しているか」で、「1. 1個そのままのことが多い」「2. 半分などカットしてあるものが多い」「3. カット野菜のことが多い」「4. 1~3の形態が同じくらい」「5. 特に決めていない」と回答した人に、家庭で作った「レタス」を使った料理をどのくらいの頻度で食べているか聞いたところ、「週に2、3回」と回答した人の割合が42%と最も高く、次いで「週に1回」24%、「月に2回」15%の順であった。

年代別に見ると、「ほとんど毎日」、「週に2、3回」と答えた人の合計の割合は、年代が高いほど高い傾向であった。(図1-20-1)。



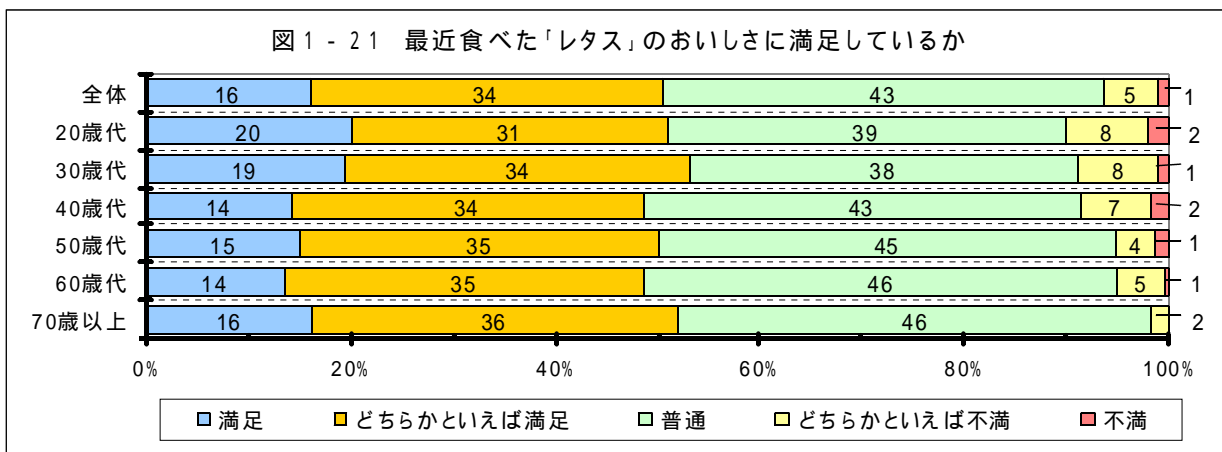
「7. 家庭で作った「だいこん」を使った料理を食べる頻度」と、「家庭で作った「レタス」を使った料理を食べる頻度」を比較したところ、「だいこん」を食べる頻度が高い人ほど、「レタス」を食べる頻度も高い傾向であった。(図1-20-2)



2.1. 最近食べた「レタス」のおいしさに満足しているか

「満足」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した人の割合が高く、「どちらかといえば不満」、「不満」は極めて低かった

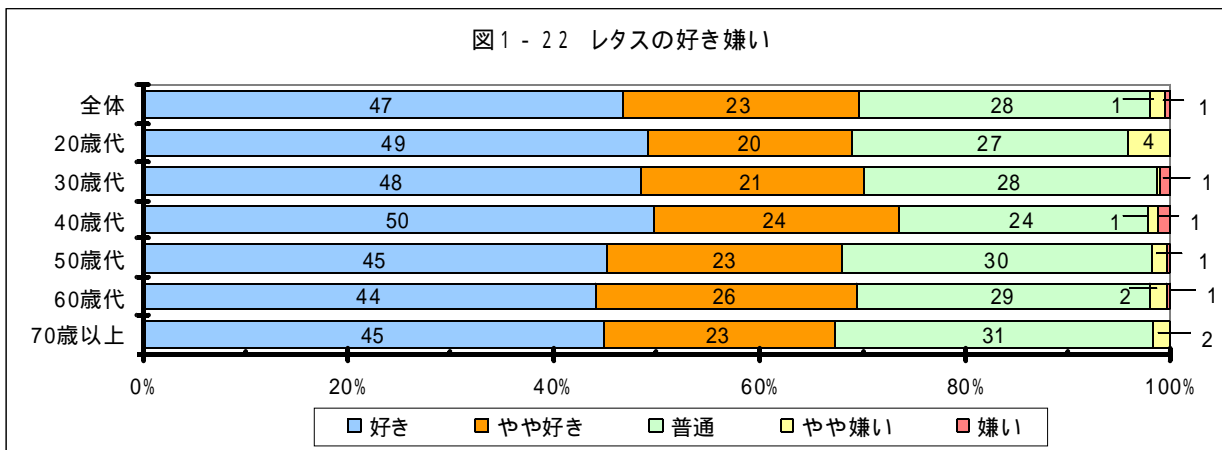
最近食べた「レタス」のおいしさに満足しているか聞いたところ、「満足」16%、「どちらかといえば満足」34%、「普通」43%であった。一方、「どちらかといえば不満」は5%、「不満」は1%と極めて低かった(図1-21)。



2.2. 「レタス」の好き嫌い

「好き」と回答した人の割合が最も高く、「やや嫌い」、「嫌い」は極めて低かった

「レタス」の好き嫌いについて聞いたところ、「好き」と回答した人の割合が47%と最も高く、次いで「普通」28%、「やや好き」23%であった。一方、「やや嫌い」、「嫌い」の合計は2%と極めて低かった(図1-22)。

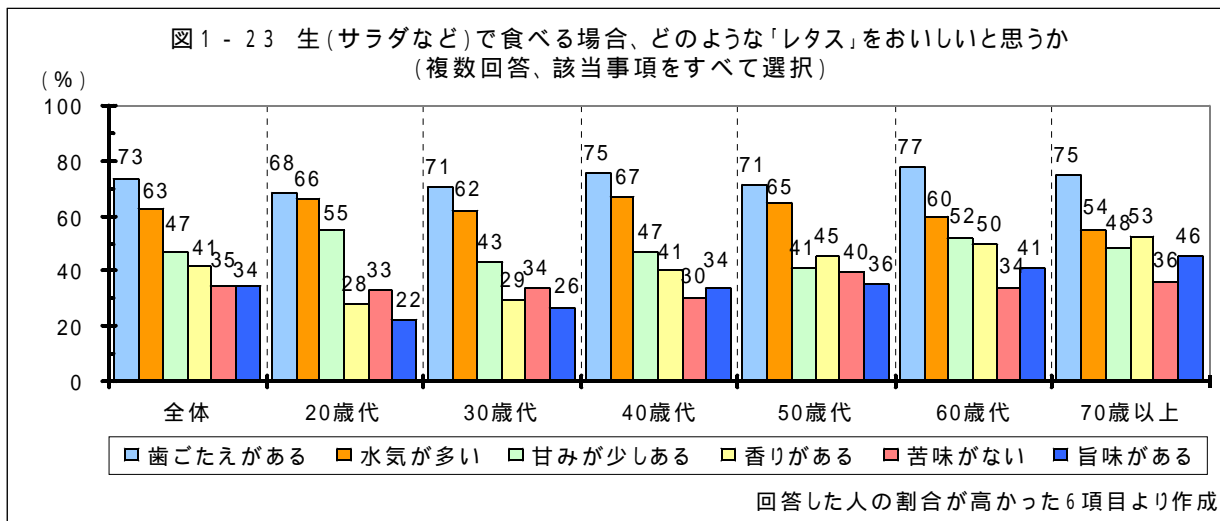


2.3. 生(サラダなど)で食べる場合、どのような「レタス」をおいしいと思うか

「歯ごたえがある」と回答した人の割合が最も高く、次いで「水気が多い」、「甘みが少しある」の順であった

「2.2. 「レタス」の好き嫌い」で、「好き」「やや好き」「普通」「やや嫌い」と回答した人に、生(サラダなど)で食べる場合、どのような「レタス」をおいしいと思うか聞いたところ(複数回答、該当事項をすべて選択)、「歯ごたえがある」と回答した人の割合が73%と最も高く、次いで「水気が多い」63%、「甘みが少しある」47%の順であった。

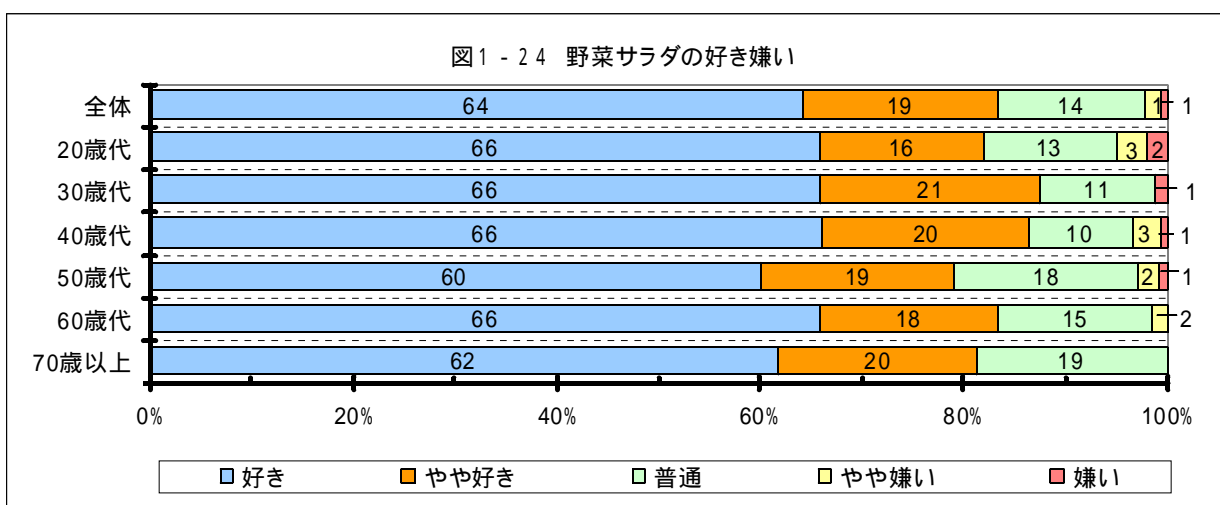
年代別にみると、「甘みが少しある」と回答した人の割合は、20歳代で55%と他の年代と比較して高い傾向であった(図1-23)。



2.4. 「野菜サラダ」の好き嫌い

「好き」と回答した人の割合が最も高く、「やや嫌い」、「嫌い」は極めて低かった

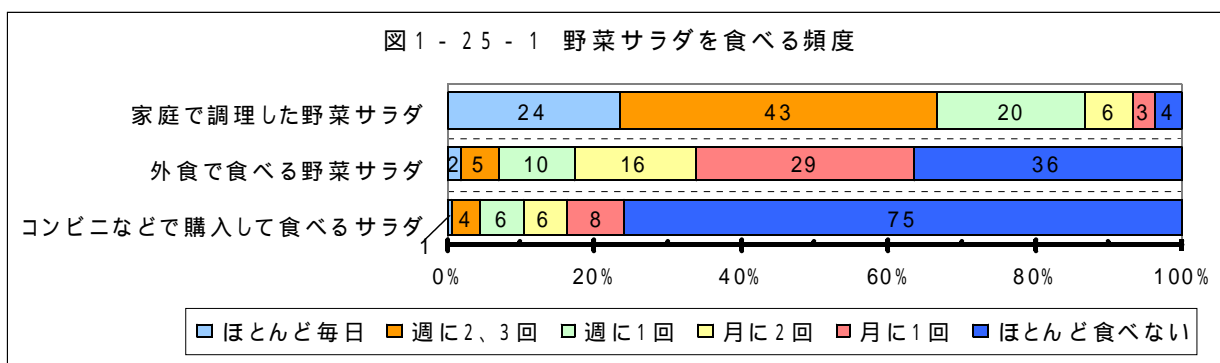
「野菜サラダ」の好き嫌いについて聞いたところ、「好き」と回答した人の割合が64%と最も高く、次いで「やや好き」19%、「普通」14%であった。一方、「やや嫌い」、「嫌い」合計は2%と極めて低かった(図1-24)。



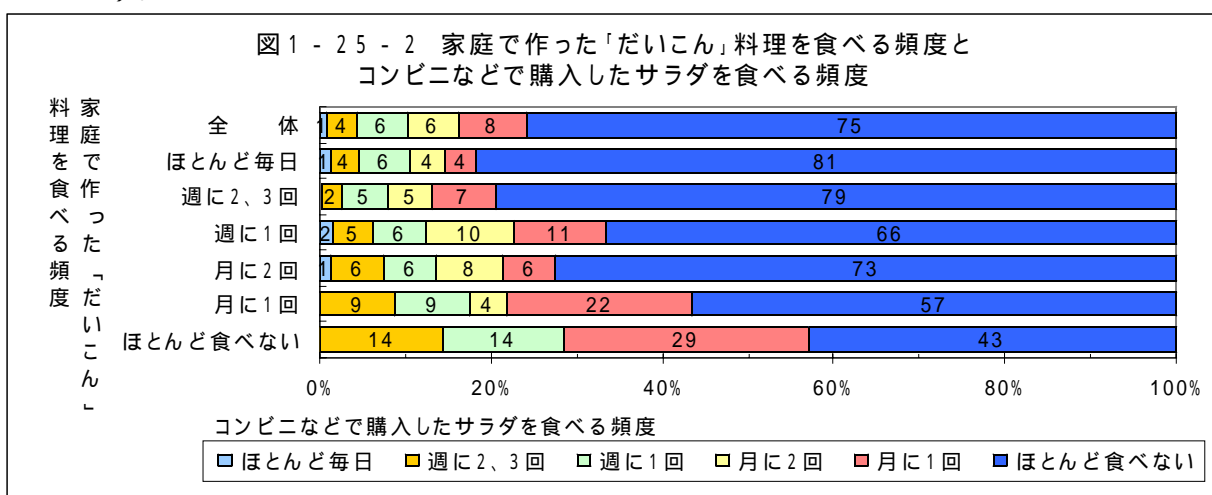
25. 「野菜サラダ」を食べる頻度

家庭で調理した野菜サラダを食べる頻度は、「週に2、3回」と回答した人の割合が最も高く、外食で食べる野菜サラダ、コンビニなどで購入して食べるサラダは「ほとんど食べない」と回答した人の割合が最も高かった

「野菜サラダ」を食べる頻度について聞いたところ、家庭で調理した野菜サラダでは「週に2、3回」と回答した人の割合が43%と最も高かった。外食で食べる野菜サラダでは「ほとんど食べない」36%が最も高く、次いで「月に1回」29%であった。コンビニなどで購入して食べるサラダは「ほとんど食べない」75%が最も高かった(図1-25-1)。

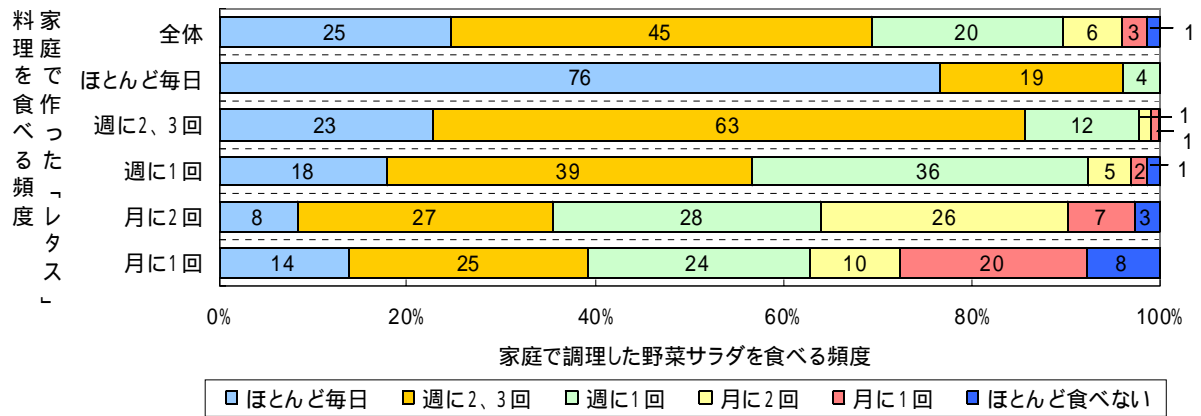


また、「7. 家庭で作った「だいこん」を使った料理を食べる頻度」と、「25. 「野菜サラダ」を食べる頻度」のうち「コンビニなどで購入して食べるサラダ」を食べる頻度とを比較したところ、「だいこん」を食べる頻度が高い人ほど、「コンビニなどで購入して食べるサラダ」を「ほとんど食べない」と回答した割合が高い傾向であった(図1-25-2)。



さらに、「20. 家庭で作った「レタス」を使った料理を食べる頻度」と「25. 「野菜サラダ」を食べる頻度」のうち「家庭で調理した野菜サラダ」を食べる頻度とを比較したところ、「レタス」を使った料理を食べる頻度が「ほとんど毎日」と答えた人では、「家庭で調理した野菜サラダ」を食べる頻度が「ほとんど毎日」と答えた人の割合が最も高かった(図1-25-3)。

図1 - 25 - 3 家庭で作った「レタス」料理を食べる頻度と
家庭で調理した野菜サラダを食べる頻度



テーマ2 . 食品に関する安心感・不安感について

26 . 食品について安心と感じているか、不安と感じているか

「不安」と回答する人が多かったのは、輸入農産物、輸入原材料等の安全性

食品について安心と感じているか、それとも不安と感じているか、農畜水産物の生産過程、輸入農産物、輸入原材料等、製造・加工工程、流通過程、小売店、外食店舗、家庭での取り扱い方の7項目について聞いたところ、家庭での取り扱い方については安心感が極めて高いのに対して、輸入農産物、輸入原材料等に対する安心感は著しく低くなっている。また、平成17年度調査に比べて、農畜水産物の生産過程に対する安心感は増加する一方で、製造・加工工程に対する不安感が増加している。各項目ごとの結果は以下のとおり。

農畜水産物の生産過程は、「どちらかという安心」と回答した人の割合が多くて50%であった。平成17年度調査に比べると、「どちらかという安心」と回答した人の割合は増加しており、「不安」又は「どちらかという不安」と回答した人の割合は減少している。

輸入農産物、輸入原材料等は、「不安」と回答した人の割合が多くて59%、「どちらかという不安」は32%であった。平成17年度調査に比べると、「不安」と回答した人の割合が増加している。

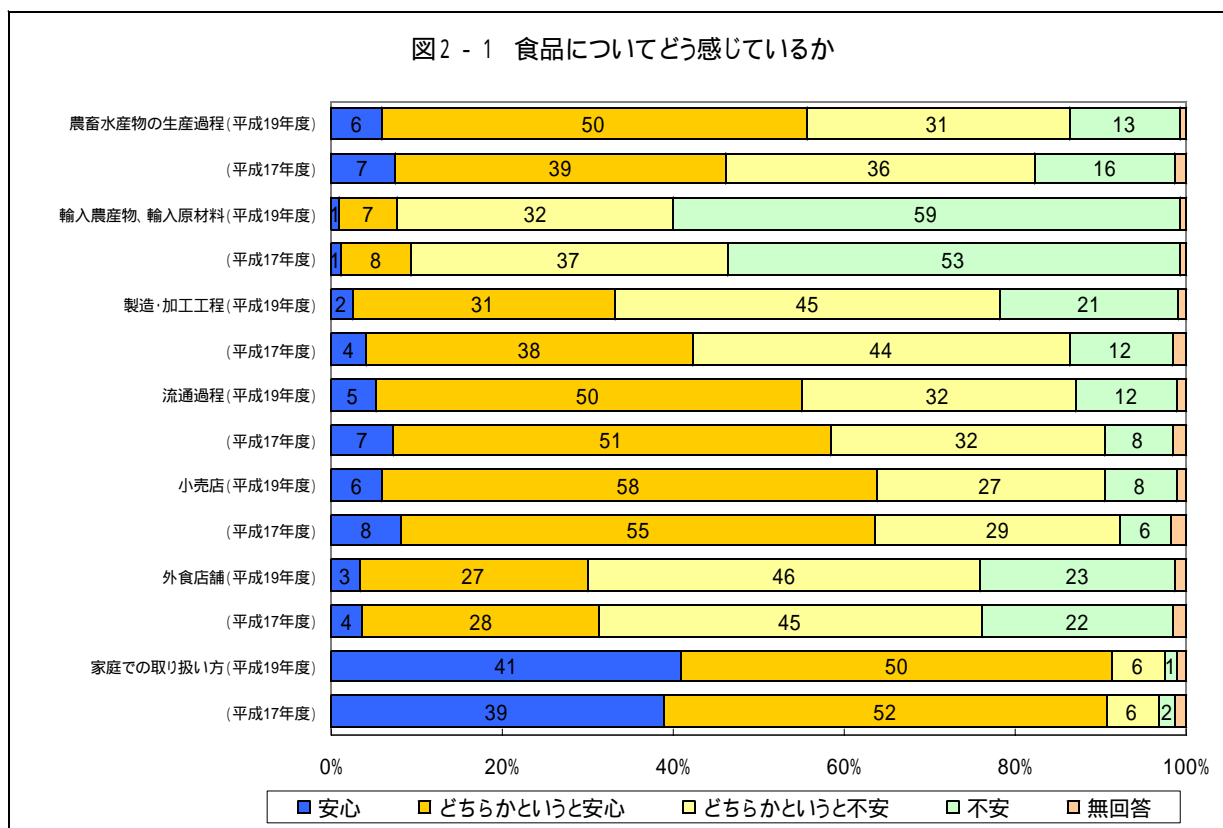
製造・加工工程は、「どちらかという不安」と回答した人の割合が45%、「不安」は21%で、平成17年度調査に比べると、それぞれ回答した割合は増加している。

流通過程は、「どちらかという安心」と回答した人の割合が多くて50%、「どちらかという不安」は32%であった。(平成17年度調査とほぼ同じ。)

小売店は、「どちらかという安心」と回答した人の割合が多くて58%、「どちらかという不安」は27%であった。(平成17年度調査とほぼ同じ。)

外食店舗は、「どちらかという不安」と回答した人の割合が多くて46%、「どちらかという安心」は27%であった。(平成17年度調査とほぼ同じ。)

家庭での取り扱い方は、「どちらかという安心」と回答した人の割合が多くて50%、「安心」は41%であった(平成17年度調査とほぼ同じ。)(図2-1)。



27. 不安を感じる食品

「不安」と回答する人が多かったのは、外国産鮮野菜と原材料が外国産の加工食品

「28. 食品について安心と感じているか、不安と感じているか」で、「不安」「どちらかという不安」と回答した項目がある人に、どのような食品に不安を感じるか聞いたところ（複数回答、3つ以内）、「外国産鮮野菜」と回答した人の割合が最も多く75%、次いで「原材料が外国産の加工食品」67%、「外国産精肉」55%、「外国産鮮魚（養殖物）」31%、「外国産鮮果物」29%となっており、これ以外の項目は全て一桁台の回答であった。また、平成17年度調査に比べて、「外国産鮮野菜」と「原材料が外国産の加工食品」と回答した人の割合が増加する一方で、「外国産精肉」と回答した人の割合が減少している（図2-2）。

